

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○12月14日～

米国の大統領選については、選挙人が14日に選ばれるのでしょうか。混乱が続くようだと年末にかけてマーケットの不安要素になってきそうです。

日米欧の金融緩和はある程度織り込み済みとなっているため影響は限定的になりそうです。英国とEUの通商協議の行方も気になります。

<ドル/円>

ドル/円は103.6-104.8円のレンジで狭い動きとなっています。

どちらにブレイクするか注目したいです。中長期的にはじわじわと円高方向への動きとなっているため高値では売り参入がよさそうです。

<気になるクロス円>

クロス円はコロナ・ショック後の高値付近まで上昇しているペアも多く、一段高となれば来年以降も強い動きが期待できそうですが今週は反落リスクもありそうです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では日銀短観、日銀金融政策決定会合、11月全国消費者物価指数などがあります。

米国では12月ニューヨーク連銀製造業景気指数、11月鉱工業生産、10月対米証券投資、11月小売売上高、12月製造業・サービス部門・総合PMI（速報値）、FOMC政策金利、パウエルFRB議長定例会見、11月住宅着工件数、12月フィラデルフィア連銀製造業景気指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで12月製造業・サービス業PMI（速報値）、ユーロ圏で10月鉱工業生産、11月消費者物価指数、ドイツでは12月IFO企業景況感指数などがあります。

ほかには、スイスと英国で政策金利発表、ニュージーランドで7-9月期GDP、英国で英中銀資産買取プログラム規模、英中銀金融政策委員会（MPC）議事要旨発表などがあります。